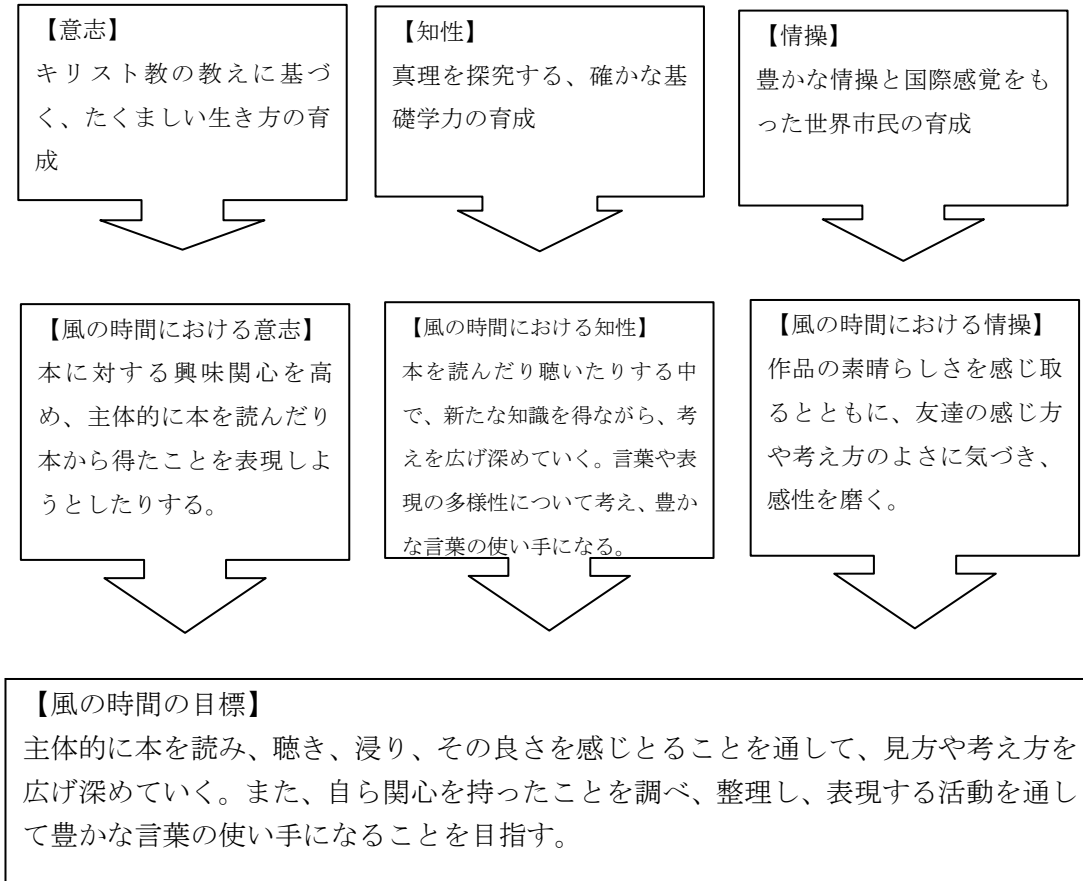


「風の時間」について

1 風の時間目標と教育構想・教育理念の関連



2 風の時間の活動

本学院の中学部及び高等部では、伝統的に「読書科」なる教科が置かれてきた。「読書科」では専科教諭を置き、「読書生活の形成と深化」「自主的自立的活動の体得」の二つを目標に据えている。知識・情報の獲得方法から活用方法、表現方法にいたる一連の学びは学校生活を豊かにするばかりか、その後の人生に多大な影響を与えることになるだろう。初等部では、そうした本学院の伝統教科に直結する学びとして「風」の時間を位置付ける。

本の選び方、読み方、記録の取り方など、豊かな読書生活を生み出す術を学ぶ。また、学年ごとに段階を追って、作文指導を行う。読書感想文の指導にはじまり、テーマに沿った作文にも挑戦する。担任教諭は、それぞれの児童がそれぞれの活動に没頭できるよう、適切に補助・指導を行う。また、児童が相互に関わり合いながら推敲を進める方法も取り入れる。高学年では物語やエッセイ、レポートにも取り組み、書くことを楽しむ子どもを育てる。同時に、小学生という発達段階を鑑み、読み聞かせの時間を積極的に取り入れる。読書活動及び表現活動が学級経営の一環として機能し、信頼で結ばれた人間関係づくりの一助となることを願っている。